



ほした市

議会だより

平成28年10月31日発行

No.45



平成28年第3回(9月)定例会 第2回臨時会

平成28年第3回定例会の概要	P2
平成28年第3回定例会 主な質疑／主な討論	P3
提出議案と審議結果	P2～3
平成28年第2回臨時会	P4
各議員の賛否	P5
委員会の構成	P5
決算特別委員会審査報告	P6
決算審査 主な質疑	P7
ここが聞きたい! 一般質問	P8～14
議員活動状況	P15
主な議会の動静	P15
委員会活動報告	P16
請願審査	P17
特別委員会の設置	P17
傍聴者の声 平成28年第4回(12月)定例会の予定	P18

鉾田南中学校平成28年度体育祭



平成28年第3回定例会の主な日程

9月7日(水)	本会議 ・行政報告並びに市長提出議案の説明 ・監査報告
9月9日(金)	本会議 ・一般質問
9月12日(月)	本会議 ・一般質問
9月15日(木)	本会議 ・決算及び財団報告に関する質疑
9月16日(金)	本会議 ・議案第8号、第22号の質疑・討論・採決
9月20日(火)	決算特別委員会
9月21日(水)	決算特別委員会
9月23日(金)	決算特別委員会
9月27日(火)	総務企画常任委員会 経済建設常任委員会
9月28日(水)	厚生文教常任委員会
9月30日(金)	本会議 ・議案第1号、第7号の委員長報告・質疑・討論・採決 ・小学校跡地利用に関する特別委員会委員長報告 ・請願第28-1号・28-2の委員長報告・質疑・討論・採決 ・議案第2号・第3号の提案説明・質疑・討論・採決

第3回定例会の概要

平成28年第3回定例会は、9月7日から9月30日までの24日間の会期で開かれまし

た。
議案は、市長から平成27年度の各会計の決算認定や鉾田市税条例の一部改正などの条例案、平成28年度一般会計等の補正予算案など23件が提出されたほか、平成27年度健全化判断比率などの報告が4件ありまし

た。
議員からは、採択された請願にかかる意見書の提出及び市長公用車に関する調査特別委員会の設置についての2議案を提出しました。

一般質問は、12人の議員から通告があり、茨城国体に向けた準備状況や地域おこし協力隊、ふるさと納税、人口減少問題などの質問を行いました。

委員会では、決算特別委員会を設置し、決算認定について集中審議を行い、各常任委員会では請願審査等を行いました。

また、小学校跡地利用に関する特別委員会が、執行部に対する要望等をまとめた最終報告を行いました。

議案が提出された市長公用車に関する調査特別委員会については、賛成多数により設置されました。

今定例会では、市長提出の全議案、議員提出の全議案が可決されました。

平成28年第3回定例会

（本会議）
9月16日

議案第12号

平成28年度鉾田市一般会計補正予算(第3号)

○提案趣旨

補正の主な内容は、4月の定期異動に伴う人件費の補正を行うほか、前年度決算確定に伴う地方財政法の規定に基づく財政調整基金の積立金、鉾田南中学校区統合小学校の建設用地に係る造成工事費、マイナnpバーカードを利用して住民票等を取得できるコンビニ交付サービスを導入するための準備経費及び定期接種となるB型肝炎ワクチン予防接種委託料並びに産地パワースタッフ事業補助金等を増額するものです。

○反対討論

（高野 衛 議員）

本補正予算には、個人情報漏えいの恐れのあるマイナnpバー法に対応するための予算2401万円が計上されています。また、南中学校区の統合を行うための鉾田南中学校区統合小学校の整備事業費1億4895万4000円が計上されています。少人数学級を基本とすべきであるのに、3年生から6年生は1学級あたり40人学級を基本とするなど、子どもたちへの学習環境に問題を感じます。以上のことから本案に反対します。

○賛成討論

（根崎 眞 議員）

本補正予算案は、マイナnpバーカードを利用し、市民がコンビニで住民票などの証明書を取得できるサービスを提供するための導入準備経費や、本年10月から定期予防接種に追加されるB型肝炎ワクチン予防接種委託料、また、鉾田南中学校統合小学校建設用地の造成工事費を追加するなど、必要な補正予算と認められることから、本案に賛成の意を表します。

主な質疑

問

〔倉川 陽好 議員〕学

校建設費の中で、鉾田南中学校区統合小学校整備事業として1億4895万円の工事請負費が計上されていますが、具体的な工事内容をお尋ねいたします。

答

【教育部長】工事請負費の主な内容は、県

道大竹鉾田線と統合小学校予定地との高低差の少ないところからの進入路の整備、調整池の構築及び調整池からの流

末排水路の整備、雨水排水溝として、調整池の周辺道路等に沿ったU字溝の敷設、40トンの防火水槽2基の設置となっております。

提出議案と審議結果

○全員賛成 ●賛成多数 ▲賛成少数 △継続審査

平成28年第3回鉾田市議会定例会

平成27年度決算認定

- 平成27年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定
- 平成27年度鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定
- 平成27年度鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- 平成27年度鉾田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- 平成27年度鉾田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定
- 平成27年度鉾田市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定
- 平成27年度鉾田市水道事業会計収入支出決算認定

条例等の一部改正

- 鉾田市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正について
- 鉾田市手数料条例の一部改正について
- 鉾田市税条例の一部改正について
- 鉾田市国民健康保険条例の一部改正について

平成28年度補正予算

- 平成28年度鉾田市一般会計補正予算(第3号)
10億778万1千円の増額
- 平成28年度鉾田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
1156万8千円の増額
- 平成28年度鉾田市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
484万円の増額
- 平成28年度鉾田市介護保険特別会計補正予算(第2号)
1億6511万7千円の増額

- 平成28年度鉾田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)
1915万円の増額
- 平成28年度鉾田市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)
6020万9千円の増額

- 平成28年度鉾田市水道事業会計補正予算(第1号)
収益的収入及び支出 3432万8千円の増額
資本的支出 106万4千円の増額

契約

- 物品購入契約の締結について

人事

- 人権擁護委員の推薦について(2件)

その他

- 市道路線の変更について

請願

- ▲TPP協定を国会で批准しないことを求める請願
- 教育予算の拡充を求める請願

議員提出議案

意見書の提出

- 教育予算の拡充を求める意見書の提出について

特別委員会の設置

- 市長公用車に関する調査特別委員会の設置について

平成28年第2回鉾田市議会臨時会

条例の制定

- ▲(仮称)鉾田市民交流館建設の賛否を問う住民投票条例の制定について



平成28年第2回臨時会の主な日程

- 10月11日（火） 本会議
・市長提出議案の説明
・条例制定請求代表者の意見を述べる機会の付与について
- 10月17日（月） 本会議
・条例制定請求代表者の意見陳述
・市長提出議案の質疑・討論・採決

第2回臨時会の概要

平成28年第2回臨時会は、10月11日から10月17日までの7日間の会期で行われました。

議案は、市民から（仮称）鉾田市民交流館建設の賛否を問う住民投票条例制定を求める直接請求が提出されたため、市長から、住民投票条例案が提案されました。

意見陳述では、条例制定請求代表者4人のうち3人が本会議において、市民交流館の建設費が当初より増大していることや予定地の選定方法などに疑問を感じていること、市民交流館を建設せずに中央公民館を改修して使用したほうがよいなどの意見を述べました。

質疑、討論では、条例案に付した市長の意見書などに対する質疑が行われた後、討論が行われました。

採決は投票により行われ、投票総数16票（棄権2）のうち、賛成6票、反対10票の賛成少数で否決となりました。

議案第1号

（仮称）鉾田市民交流館建設の賛否を問う住民投票条例制定について

主な質疑

【高野 衛 議員】市長は意見書で、3度の市長選で市民の負託を受けてきたため住民投票の必要性を感じないとしているが、前回の市長選の時点では、建設費が35億円であったものが、現在は50億円になっています。このままの事業費で進めることに市民の負託は受けていないと感じているが市長の考えは。

答

【市長】金額が増加したのは、人件費や資材費等が値上がりしたためで、間取りについては、基本構想より縮小しています。施設を当初より豪華にしたとか立派にしたとかありません。

問

【岸田 一夫 議員】市民交流館の建設費が50億円を超えることはないと言っていたが、本当に超えることはないのか伺います。

答

【市長】50億円を超えたら、市民や議員の理解を得ることはできないと思います。設計会社にも50億円を超えないように指示しています。

主な討論

○反対討論

（田口 清一 議員）

市民交流館の建設に関する住民投票条例案は、第1回臨時会で、市民の会及び市長の条例案とともに否決しており、議会においては、住民投票は必要ないと判断したものと認識しております。また、基本構想から間もなく完了する実施設計まで、計画や予算について手順を踏んでいることから、住民投票の必要性はないものと考えて、本条例案に反対いたします。

○賛成討論

（岸田 一夫 議員）

住民投票に成立条件を設けるべきではないと今でも思いますが、第1回臨時会で否決となっても市民の会は活動を続けて直接請求を提出し、市民は住民投票を望んでいるため、賛成をしようと決意しました。市長は、文化振興は永遠の課題であり時間的制限はないと言います。ならば、施設建設だけを急がず本場の市民の声を聞くべきだと考えますので本案に賛成いたします。

議員の賛否が分かれた議案

会議名	議案名	議員名		井川倫士	渡辺拓哉	亀山 彰	岸田 一夫	二重作茂兵衛	郡 司 功	小沼 勝	根 寄 眞	水上美智子	入江 晃	岩間勝栄	井川茂樹	米川宗司	友部政徳	山口 清一	田口清一	堀田正衛	高野 衛	倉川陽好	採決結果
		反対討論	賛成討論																				
第3回定例会	平成27年度鉾田市一般会計歳入歳出決算認定について	高野	倉川	●	○	●	●	●	○	○	●	○	○	○	●	議	○	○	○	○	●	○	可決
	平成27年度鉾田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	高野	倉川	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	可決
	平成27年度鉾田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	可決
	平成27年度鉾田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	高野	入江	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	可決
	鉾田市政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	高野	根寄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	可決
	平成28年度鉾田市一般会計補正予算（第3号）	高野	根寄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	●	○	可決
	T P P協定を国会で批准しないことを求める請願	渡辺	高野	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	議	●	●	●	●	○	○	不採択
臨時会	市長公用車に関する調査特別委員会の設置について	倉川	井川（倫）	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	議	●	●	●	●	○	●	可決
	（仮称）鉾田市民交流館建設の賛否を問う住民投票条例の制定について	田口	高野岸田	○	●	●	○	●	○	●	○	棄	棄	●	○	議	●	●	●	●	○	●	否決

○：議案に対して賛成 ●：議案に対して反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 棄：棄権

委員欠員に伴い、入江委員を副委員長に、渡辺委員を新たに選任しました。

委員会名	委員長	副委員長	委 員		
議会運営委員会	井川茂樹	入江 晃	渡辺拓哉	小沼 勝	根寄 眞
			友部政徳	田口清一	

第3回定例会において、特別委員会を新たに設置しました。

委員会名	委員長	副委員長	委 員		
市長公用車に関する調査特別委員会	郡 司 功	高野 衛	井川倫士	亀山 彰	岸田一夫
			根寄 眞	岩間勝栄	友部政徳
			田口清一	堀田正衛	

委員欠員に伴い、岸田委員を副委員長に選任しました。

委員会名	委員長	副委員長	委 員		
原子力施設の安全に関する調査特別委員会	入江 晃	岸田 一夫	井川倫士	渡辺拓哉	亀山 彰
			根寄 眞	井川茂樹	友部政徳



決算特別委員会で 平成27年度決算認定を集中審議

◆委員構成◆

委員長	水上美智子				
副委員長	入江 晃				
委員	井川 倫士	渡辺 拓哉	亀山 彰功		
	岸田 一夫	二重茂兵衛	郡司 勝栄		
	小沼 勝	根寄 真徳	岩間 清一		
	井川 茂樹	友部 政徳	田口 倉好		
	堀田 正衛	高野 衛			

付託事件

議案第1号 一般会計決算認定
議案第2号 国民健康保険特別会計決算認定
議案第3号 後期高齢者医療特別会計決算認定
議案第4号 介護保険特別会計決算認定
議案第5号 農業集落排水事業特別会計決算認定
議案第6号 公共下水道事業特別会計決算認定
議案第7号 水道事業会計決算認定

【審査経過（主な質疑）】

総務部所管事業

大洗鹿島線を育てる沿線市町会議の事業内容について質疑を行い、ワイン列車や田んぼアートツアーなどを開催しているという回答を得ました。また、市長公用車の運転日報が記載されていないことについて、不適切な事務処理であったと指摘しました。

市民部所管事業

特定健診事業の新規事業について質疑を行いました。平成27年度から40歳到達者に一般医療機関での無料受診券を発行しているとの回答を得ました。

産業経済部所管事業

銚田市地域資源ブランド力向上事業の事業内容について、重要品目等のブランド化の取り組みや東京スweetsコレクション等への出店などを行っているとの回答を得ました。

建設部所管事業

道路改良舗装工事における工事完了本数、舗装率について質疑を行いました。工事完了本数は15件で、舗

装率は前年度から0・17%増の58・11%であったとのことでした。

上下水道部所管事業

生活排水ベストプラン策定業務委託料の内容について質疑を行いました。農業集落排水の整備について、これまで10か所を計画していたが、費用対効果や地元の意見を考慮し、3か所にする計画となったとの回答を得ました。

健康福祉部所管事業

生活保護扶助費の増加について質疑を行いました。生活保護受給者は8%ほど増加し、扶助費の中でも特に介護扶助費、医療扶助費が前年度と比べて増加したとのことでした。

教育部所管事業

中学校工事費の繰越明許費や大洋公民館の施設工事、学校給食に関する質疑などを行いました。また、英語指導助手派遣について、英語教育は今後非常に重要となるため、より充実させるよう提言しました。

【審査経過（主な討論）】

議案第1号の討論では、マイナンバー制度や（仮称）銚田市民交流館の建設計画が推進されていることなどを理由とした反対討論に対して、市税収納率の増や人件費の削減、銚田北小学校の整備事業など評価できる決算であるとの賛成討論がありました。

議案第2号の討論では、一般会計からの繰り入れを増やして、保険税額を引き下げるべきとの反対討論に対し、収納率も向上し、検診受診率の向上を図るなど積極的に事業を行っているとの賛成討論がありました。

【審査結果（採決）】

議案第1号は、賛成と反対が可否同数となり、委員長の裁決により認定となりました。議案第2号から議案第4号は賛成多数により認定、議案第5号から議案第7号は全会一致で認定となりました。

議案第1号

平成27年度銚田市一般会計歳入歳出決算認定

主な質疑

問 【倉川 陽好議員】乗合自動車運行業務委託料

1127万5200円について、これらの委託内容についてはどのような形になっているのか伺います。

答 【健康福祉部長】乗合自動車

の委託については、導入当時11社による見積もり合わせを行い、銚田観光バスに決定しました。それ以降は単年度ごとに1社との見積もり合わせを行い、随時契約により運行しています。

委託業務の内容ですが、運転手2名と、運行スケジュールの調整管理をするオペレーター2名の計4名分の人件費、運行車両3台分の燃料、保険料及び商工会における専用事務所の賃借料を含んでいます。

なお、この運行に伴う運賃収

入ですが、191万700円で、前年度比で見ると29%伸びています。

問 【高野 衛議員】基金の運用の状況、残高総額についてお尋ねします。

答 【会計管理者】基金の運用状況ですが、定期預

貯金、普通預金に預けています。また、その他に国債、地方債を保有して基金運用をしているところ。また、定期預貯金及び国債、地方債の利子収入済額は、3791万2281円となつています。次に、一般会計に属する基金の残高総額は、156億725万5346円です。

問 【入江 晃議員】ブランドアップ推進事業につい

て、今回は500万円以上が

使われていますが、この具体的な成果をお聞きしたいと思います。

答 【産業経済部長】ブランドアップ推進事業の

具体的な成果についてですが、これまで、農産物の各種PR事業等を行ってまいりました。課税状況調べによる農業者の総所得金額では、平成18年分と平成27年分を比較しますと、約16億7000万円の増、市内JAの販売金額においても166億4000万円から226億9000万円と約60億円の増加となっており、各生産者の努力によることはもちろんですが、市で行ってまいりましたPR事業等も一定の成果があったものと認識しております。

問 【岸田 一夫議員】市観光協会補助金の使途につ

いてその詳細をお伺いします。

答 【商工観光課長】主なものとしては観光協会

のガイドブックの作成、新聞・雑誌

問 【井川 倫士議員】職業相談室管理運営事業について、求職者に対する雇用の促進は大変重要な施策だと思つのですが、昨年度の実績はどのようなになっているのかお聞きします。

答 【商工観光課長】職業相

談室は現在2名の臨時職員が交代で実施しています。平成27年度の実績は、全体で6889人の方が利用されています。内訳は、銚田市の方が5372人、行方市1310人、小美玉市53人、鹿嶋市54人、その他100人となっております。





太陽光発電への対応にどのように取り組んでいくのか

倉川 陽好 議員

問 太陽光発電施設が課税対象になり、固定資産税が徴収できるとお聞きしました。施設設置の際には市への届け出が必要と思いますが、設置場所や設置件数を把握しているのか伺います。また、これらの問題についてどのように取り組んでいくのか、歳入見込み額についてはどのくらい予測しているのか、お尋ねします。

答 【市民部長】太陽光発電施設の設置の際の届け出については、事業者から償却資産の申告を受けています。設置場所、設置件数の把握についても、提出された申告書に基づき把握をしています。これらの問題点に関しては、経済産業省等関係機関から情報を収集し、事業者の把握に努めています。また、どのように取り組んでいるかについては、事業者に対して直接お知らせをして申告を促しています。

提言 これまで太陽光発電施設の設置問題が起きており、笠間市では条例を施行しています。市民の皆さんが太陽光発電の電力は売れるということだけではなく、問題点等も知ることができるよう、銚田市の広報に掲載するのも必要

だと思っています。また、家庭の屋根等に太陽光発電設備を設置した人で、台風や震災で外したけれど、お金がかかって瓦をのせられないという状況もあるので、太陽光発電設備を設置するときに、屋根の上に載せる場合には、こういうような危険性もあり、後々のメンテナンスについても考えなければならぬと思いますので、そういう周知も進めていただけたらと思います。



銚田市民交流館及び進入路予定地付近の不動産について

岸田 一夫 議員

問 市民交流館及び進入路予定地付近の市長及び親族または関係する法人の所有する不動産について伺います。

答 【市長】市民交流館建設地及び進入路予定地及び隣接地において、私及び親族、または関係する法人が所有する土地は存在はいたしません。以前質問したところから、市長のほうから答弁のあった土地については、接道はしていません、道路がつながって

答 【市長】その土地は、私の父があの地域のの人に頼まれて買った土地を我々が相続したものです。そして場所は、今のところよりもっと大分離れていますので、以前もご説明しましたように、それは

提言 それはわかりませんが、市長が市長を勇退されたとき、もし何かあったときに、別な部分に売られると、そういう部分について保証できないです。価値が上がるわけですから、その辺りを市民の皆さんが思っているわけですよ。そういう疑惑のあるところにはやるべきではないと思います。

ここが聞きたい！一般質問

平成28年 第3回 銚田市議会定例会 一般質問通告順

議員名	質問事項
岸田 一夫	1. 茨城国体に向けた準備状況について 2. 銚田市立の学校等について 3. 第2回全国メロンサミットについて 4. 三階城跡地の用地購入について 5. 銚田南中学校区統合小学校整備事業について 6. (仮称)銚田市民交流館について
倉川 陽好	1. 大人の健康教室について 2. 仕事・子育ての両立のできる施策について 3. 太陽光発電施設の固定資産税について 4. 街のにぎわいについて 5. 住民投票条例について
入江 晃	1. 涸沼観光センター及び市所有地の開発について 2. 銚田市総合公園の整備事業について 3. 放課後児童クラブについて 4. 市の窓口受付カウンターについて 5. 広域ごみ処理施設整備について
水上美智子	1. ふるさと納税について 2. 道路の排水整備について 3. 道路整備について 4. 子供議会の開催について 5. 協働のまちづくりについて
郡司 功	1. ふるさと納税（寄附）について 2. 開発計画及び企業誘致について 3. 教育行政について
二重作茂兵衛	1. 線路跡地及び踏切の整備について 2. 台風による被害状況について
渡辺 拓哉	1. 銚田のおまつりを使った地域活性 2. 地域おこし協力隊の活用について 3. 子育て支援について

議員名	質問事項
高野 衛	1. (仮称)市民交流館建設の是非を問う住民投票について 2. 雨水対策について 3. 健康づくりの推進について 4. 信号機設置について
井川 倫士	1. 公共施設等総合管理計画について（公用施設の管理コストを削減するために） 2. 銚田市総合計画について（将来のビジョンを定めて、プロジェクトベースでの行政運営をするために） 3. 旧3町村で考えた場合の各地区の産業育成について（もっと強い農業を育成し地区特徴の伸長と活性化をするために） 4. 市の情報公開請求について（市民協働のまちづくりを一步前に進めるために）
小沼 勝	1. 国際協力機構（JICA）支援について 2. 環境保全事業農業用プラスチック廃び収集について
根寄 眞	1. (仮称)銚田市民交流館事業の用地である「なだろう」協の用地選定について 2. 市税及び国民健康保険税の徴収方法と滞納整理について 3. 農地利用最適化推進委員の職務分担について
亀山 彰	1. 人口減少問題について

ホームページで一般質問の会議録が見られます

市のホームページで、本会議の会議録を公開しています。

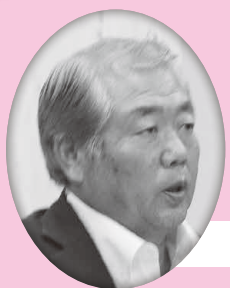
- ①銚田市のホームページへアクセスする。
アドレス <http://www.city.hokota.lg.jp>
- ②市ガイド内の「銚田市議会」をクリックする。
- ③会議録をクリックする。

なお、今定例会の会議録公開は、12月頃の予定です。本会議の会議録(冊子)は、市立図書館で閲覧できます。

銚田市議会

検索





鉾田市総合公園の整備事業について

入江 晃 議員

問 茨城国体の開催に向けて、鉾田市総合公園整備事業の詳細について伺います。

また、陸上競技場のタータントラック8レーン化はいつごろ実施していくのか、さらに、体育館内の整備はどの程度進めていくのかを伺います。

答 【教育部長】鉾田総合公園整備事業についてですが、現在の公園内の通路は幅が狭く、国体の選手送迎に支障を来すおそれがあるため、

曲がり角の隅切りの改修や通路を広げる改修をしたいと考えています。

次に、陸上競技場のタータントラック8レーン化については、陸上競技場の利用者や陸上競技関係団体から、8レーン全てをタータントラックにする要望が多数あることも踏まえて、残り2レーンのタータントラック化を平成29年度に実施したいと思っています。

非構造部材の耐震調査を行ったところ、体育館全体が経年劣化で傷んでいることが確認されたので、非構造部材の耐震補強も当然ながら、トイレ等もユニバーサルデザイン化を基本とした改修工事を図っていきたいと考えています。

非常に注目を浴びています。今後のことを考えて思い切った整備をしていきたいと思っています。もし関東甲信越規模の大会を毎年開ける設備があれば、本市の大きなPRにもなります。廃校になった小学校を利用したり、ほっとパーク鉾田等とも連携をとるなどすれば、もつと人が来やすい大きな施設ができると思いますので、今回を機にしっかりと整備してもらいたいと思います。



地域協働のまちづくりの推進についての考えは

水上 美智子 議員

問 市民活動、例えば環境美化活動、防犯活動、防災活動、各種講座、講演会などへ参加した市民の方々へポイントシールを配布し、たと市内公共施設の利用券、またはオリジナルグッズと交換するなどして、ともに協働のまちづくりを進めていってはいかがかと考えますので、本市の考えを伺います。

答 【総務部長】協働のまちづくりについて、市民活動へのポイント

制度の導入ということですが、現在、県内においては、いくつかの自治体では市民活動への積極的な参加を促す一つの手法として導入している事例があります。しかし、これらは核家族化、地域コミュニティの希薄化等により、市民活動に対して協力や参加者を集めることが難しくなっていることが根底にあると思われる、市民活動参加のきっかけづくりとしては一定の効果があるものと考えていますので、今後と

も先進事例を調査し、具体的に参加者がふえていくのか、あるいは問題点はないのかなどのメリット、デメリットについて検証して考えていきたいと思っています。

また、本市の場合、区長さんを中心に地域コミュニティが残っています。これらは都市部にはない強みでもあり、地域活動を実践する各種団体の活動も活発でありますので、これらの市民団体を最大限に支援するとともに、現



鉾田市のふるさと納税の受け入れ額と使途は

郡司 功 議員

問 平成27年のふるさと納税受け入れ総額と当市のふるさと納税による市民税の税額控除総額を伺います。

答 【産業経済部長】平成27年の1月1日から12月31日までに入金されたふるさと納税の受け入れ総額は476万5000円です。

【市民部長】平成27年度中

の市民税の税額控除総額は、361万7528円です。

【総務部長】初めに平成26年度までのふるさと納税の5項目ごとの受け入れ総額については、産業の振興に資する事業に対しては123万円、市のイメージづくり及びイベントの開催等に資する事業に対して10万5000円、健康づくり運動の推進に資する事業に対して42万円、市の歴史及び伝統芸術に資する事業はありませんでした。最後に、市長が必要と認め

る事業に対しての受入額は131万6000円です。そのほか受け入れ先の指定のないものが47万5000円ありました。

次に、ふるさと納税の使途については、農業振興事業、鉾田うまかつペフェスタ開催事業、まちづくり推進事業、健康増進事業、ブランドアップ推進事業などに活用をさせていただいています。自主財源の脆弱な本市にとって貴重な財源ですので、今後もより充実した形で事業遂行を図って

いきたいと考えています。

【提言】平成28年6月15日の茨城新聞によると、ふるさと納税の受け入れ額が、行方市では1億1300万円、小美玉市が1億1200万円、茨城町が1300万円、大洗町は2億200万円となっています。これに比べると、鉾田は行政がおくれていると感じます。鉾田は財源が豊かではありませんので、地方交付税の不交付団体になれるような行政運営をしてもらいたいと思います。



鹿島鉄道鉾田線廃止後の踏切の危険個所の解消について

二重作 茂兵衛 議員

問 鹿島鉄道鉾田線が平成19年4月1日をもって廃止され、約9年余りが経過しました。そこで、鹿島鉄道鉾田線の踏切の危険箇所の解消について伺います。

答 【建設部長】鉄道踏切の踏切については、具体的な回答を求めます。なお、同案件については、以前に鹿島鉄道株式会社の区長や代表者などで現地調査を行うとともに、今後の処置等を協議もしていますので、早急な対応について伺います。

と、鉄道跡地の交差する踏切跡地のことかと思えます。この場所は、鉄道跡地が盛り土状になっている場所であり、隣接地より高く、廃線前から踏切が山なり状態で見通しが悪く、区からの改善の要望書も提出されている場所です。現在、踏切の撤去に向けて、設計及び鹿島鉄道株式会社との協議を進めているところであり、踏切跡については順次改善に努めています。

【再質問】借宿と栗野区を結ぶ市道と鉄道跡地の交差する踏切跡地だけではなく、当間地区にも危険度が高い箇所があります。ですから、現地の踏切跡地を見て歩いていただいで、早急な改善をお願いできればと思います。

【答】【建設部長】踏切の件ですが、確かに大小いろいろな踏切がありまして、7カ所ぐらいを順次改善していきたいと思っています。





鉾田のお祭りを活かした地域活性の取り組みについて

渡辺 拓哉 議員

問 鉾田のお祭りは、400年以上の歴史を持つと言われます。このような歴史あるお祭りなので、上手に活用することで、地域の活性化につながるかと思っています。鉾田市も合併して10年以上になりますが、現在はお祭りに参加する方が年々減っている状況です。毎年楽しみにしている方もたくさんいるお祭りですので、これからは、鉾田市の祭りとして広く参加者を募集

し、行政も協力をして、PRができないかと思っています。お祭りを盛り上げることに、若者に鉾田市を好きになってもらい、このお祭りを残していきたいと思います。また、鉾田市の歴史をPRする機会として、お祭りを活用してPRを行うことは大変難しいものと考えています。

その一方、お祭りは観光客の集客が見込まれる行事でもあるため、現在も市外で行われる観光PRイベント等においても、400年以上の歴史を持つお祭りとして観光協会を通じてPRを行っており、今後も継続してPRをしていきたいと考えているところです。

また、お祭りは観光客の集客が見込まれる行事でもあるため、現在も市外で行われる観光PRイベント等においても、400年以上の歴史を持つお祭りとして観光協会を通じてPRを行っており、今後も継続してPRをしていきたいと考えているところです。



(仮称)鉾田市民交流館建設の是非を問う住民投票について

高野 衛 議員

問 鉾田市の人口の減少、そして市税の減少が懸念される中、鉾田市の身の丈に合った、そして財政状況に合った施設とすべきと考えます。現在、鉾田市民の会から(仮称)鉾田市民交流館建設の是非を問う住民投票を指す有権者2649人分の署名が鉾田市選挙管理委員会に提出され、有効署名2610人とする審査結果が出ています。住民投票の意向を真摯に受け入れるべきと考え

ますが、見解をお伺いします。
答 【市長】住民投票の条例は、諸手続を踏まえて議会に付議したいと考えていますので、その場で意見を述べさせていただきます。
再質問 この住民投票条例が提案した内容と同じものという点ですが、条例案はもう見えていますか。
答 【市長】まだ正式に提出されていませんので、そこまで見ていません。

再質問 何としても住民投票だけはやってほしいという熟慮の結果として市長案を市民の会が提案するということがなされたようです。この直接請求の趣旨は、市民の声を聞いて、建設の結論を出してほしいということですので、住民投票を積極的にやることは望ましいと表明してもらいたいと思います。
答 【市長】住民投票は、もちろん大切ですが、もし全て住民投票に

委ねれば、住民投票には当然お金も時間もかかります。そのために、議員の皆さんが住民の代表として質疑を行い、その質疑の中で様々な情報を理解した上で賛否を決め、その議決が様々な事業につながっていく。それが今の間接民主主義であり、これがまず一番ではないかなと思います。ただ、テーマによって住民の方の声があれば、手順を踏んで進めることは当然だと思います。



公共施設等総合管理計画の策定について

井川 倫士 議員

問 平成28年度中に公共施設等総合管理計画を国からの指導により策定されることが決まっています。これは、本庁舎や旭、大洋の総合庁舎だけでなく、学校、公民館、スポーツ施設、上下水道施設、道路及び橋など本市の全ての施設が対象となっており、さらにこれから40年先までを見通す大変重要な計画です。なぜなら、戦後に建設された数多くの施設について耐用年数が近づいて

いるからです。これは、本市も例外ではありません。ちなみに、隣の行方市では平成28年4月に策定が完了しており、その中で、公共施設を60年使用し、30年で大規模修繕をする計画で、人件費等まで含めた計画となっております。その結果、毎年10億円の不足とあります。本市の計画策定の進捗状況を伺います。
答 【総務部長】計画策定の進捗状況については、平成26年度末時点

の固定資産台帳をもとに公共施設等の現況及び将来見通しについて整理をしましたので、内容についてご説明します。初めに、公共施設等の現況ですが、本市の公共建築物の総延床面積は、約15万8983平方メートルです。次に、公共施設等の将来コストを、試算したところ、今後40年間の総事業費は約1725億9000万円と推計し、年間当たり約43億1000万円の更新

改修費用が必要と試算されました。また、本計画において、充当可能な歳出額として年間約31億1000万円が見込まれ、現在の公共施設等をそのまま維持した場合、毎年約12億円が不足するという試算結果になっています。現在は、平成27年度中に増減した公共施設等の総量について更新作業を実施し、現況及び将来見通しについて再計算を行っています。



農業用使用済みプラスチックの収集について

小沼 勝 議員

問 農業用廃プラスチックの収集について、旧旭、大洋、鉾田の3地区におけるポリエチレン収集の受け入れ回数と、対応についてお尋ねします。
答 【産業経済部長】農業用ポリエチレンの収集回数ですが、市全体では年間15回収集を行っています。内訳としては、旭地区が6回、鉾田地区が5回、大洋地区が4回の収集を実施しています。
再質問 収穫の期的なものも関係して

いると思いますが、パンフレットを見ても受け入れ時期の農業用ポリエチレンの収集期間は1日というように形です。4回、5回、6回と地区ごとに収集回数にはばらつきがあると思うのですが、その中でトラブルや問題点などがありましたら伺います。また、収集時にはアンケートなどを取り寄せているのかも伺います。
答 【産業経済部長】まず、基本的に農家の方は登録していただければ

ばどこの地区にも搬入は可能ですが、しかしながら、過去の搬入の実績から考え、まして、旭地区が6回、鉾田地区が5回、大洋地区が4回という形になっています。今、地区ごとのそれぞれの収集回数や日にちについては、それぞれ過去の経験値から出したものですが、当然農作物の作物の状況によって、それぞれの地区に変動がありました場合には、それぞれ各地区の農家の方やJAの担当者の意見

を聞きながら対応していきたいと考えています。
提言 ぜひとも事情を考慮して、検討をしていただきたいと思います。また、やはりアンケート等は、毎回とは言いませんが、取り寄せたほうが農家の方の気持ちが見えてくると思いますので、そのような取り組みもしていただければと思います。



市議会議員活動状況

平成28年7月1日～9月30日

期 日	議会・委員会	1 井 川 倫 士	2 渡 辺 拓 哉	3 亀 山 彰	4 岸 田 一 夫	5 二 重 作 茂 兵 衛	6 郡 司 功 勝	7 小 沼 真	8 根 岸 真	10 水 上 美 智 子	11 入 江 晃	12 岩 間 勝 栄	13 井 川 茂 樹	14 米 川 宗 司	15 友 部 政 徳	16 山 口 徳	17 田 口 清 一	18 堀 田 正 衛	19 高 野 衛 好	20 倉 川 陽 好
7月19日	議会広報編集委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月 8日	小学校跡地利活用に関する特別委員会行政視察	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月19日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8月25日	小学校跡地利活用に関する特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 1日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 7日	平成28年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 7日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月 9日	平成28年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月12日	平成28年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月15日	平成28年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月15日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	平成28年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月16日	(仮称)鉾田市民交流館整備に関する特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月20日	決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月21日	決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月23日	決算特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月23日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月27日	総務企画常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月27日	経済建設常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月28日	厚生文教常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月28日	(仮称)鉾田市民交流館整備に関する特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月30日	平成28年第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月30日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月30日	議会運営委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9月30日	議会広報編集委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：出席 欠：欠席 ー：当該委員会等に所属していない議員

主な議会の動静

8月	3日	合同政経懇話会	27日	総務企画常任委員会
	8日	小学校跡地利活用に関する特別委員会行政視察(城里町)	27日	経済建設常任委員会
	18日	鹿島アントラーズホームタウン市議会議員研修会	28日	厚生文教常任委員会
	22日	中央要望活動(国土交通省)	28日	(仮称)鉾田市民交流館整備に関する特別委員会
	30日	境町学校適正化配置調査特別委員会視察受け入れ	30日	全員協議会
			30日	議会運営委員会
			30日	議会広報編集委員会
9月	1日	議会運営委員会	10月	5日～7日 総務企画常任委員会行政視察(和歌山県)
	7日～30日	平成28年第3回定例会		11日 議会運営委員会
	7日	全員協議会		11日～17日 平成28年第2回臨時会
	13日	鹿行政経懇話会		12日～13日 百里基地・茨城空港に関する調査特別委員会
	15日	原子力施設の安全に関する調査特別委員会		14日 県東市議会議長会定例会
	16日	全員協議会		18日～20日 議会運営委員会視察研修(静岡県)
	16日	(仮称)鉾田市民交流館整備に関する特別委員会		25日～26日 関東市議会議長会第1回理事会
	20日～23日	決算特別委員会		28日 県市議会議長会定例会



人口問題解消のため、
都会のシニア世代を呼
び込む考えはあるか

亀山 彰 議員

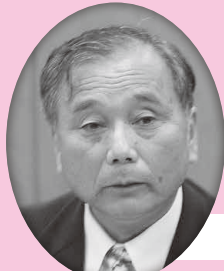
問 農業、商工業とも人手不足問題は深刻です。そこで、都会のシニア世代に、自然豊かで温暖な気候、台風など自然災害の少ない我が鉾田市をアピールして、移住を進め、住む場所と働く場所を紹介すれば、人手不足解消、人口減少問題解消の糸口になると考えますが、市の考えをお聞かせします。

答 【市長】本格的な労働を求めている田舎への移住を望むシルバー層がどのぐらいいるのかははっきり数字をつかめていません。しかし、都会から労働力を呼び込むという考え方は的を射ておりますので、農業に従事したい若者をターゲットに、地域おこし協力隊の制度等を活用しながら始めていきたいと考えています。

再質問 若者世代の呼び込みもそうなのですが、シニア世代は、車の免許も持っていますし、労働力としても非常に期待できますので、ぜひそういう人たちが来やすい環境にするのと、鉾田をもっと都心に向けてPRすることが大切だと思います。こういういい場所環境もよく、土地も安い地域なので、ぜひ移り住んでもらいたい。ぜひリタイアする方々にあててPR作戦をしていただきたいと思います。その点について伺います。

答 【市長】呼び込むと同時に、その場合どれぐらい需要があるのかも確認しながら検討しているかなと思います。

提言 まさにその二、三の確認、マーケティングが必要だと思います。鉾田にある資産、そして今事業者が求めているものをしっかり市役所でマーケティング調査をして把握しなければ、どんなにいい事業をやっても的を射ていなければ全く無意味だと思えますので、そういった調査、アンケートをしっかりとっていただきたいと思います。



市民税及び国民健康保険税の徴収について

根寄 眞 議員

問 市民税及び国民健康保険税の徴収方法と滞納整理について伺います。

1番、本市在住の方の在住年数による市民税及び国保税の滞納の状況は、各階層で何%ずつですか。

2番、市民税及び国保税の未収納額は幾らで、その後徴収率はどのようになっていますか。

3番、外国人研修生の市民税及び国保税の滞納について、市としてどのように取り組んでいるか伺います。

4番、近年、不納欠損処

答 【市民部長】在住年数による市民税及び国保税の滞納状況ですが、外国人世帯は、平成28年5月31日現在、2148世帯で、そのうち滞納のある世帯は約550世帯、滞納の割合は約25・6%です。所得の階級別を見ますと、2148世帯のうち、200万円未満が世帯数の大半を占めており、収納率は76・3%です。

市民税及び国保税の未納額とその後の徴収率ですが、平成27年度の市民税の未納額は、現年度分、滞納繰越分を含めて3億2107万5583円、国保税は、現年度分及び滞納繰越分を含めて3億8261万3653円で、徴収率は、市税全体で91・9%、国保税78・9%です。

外国人研修生の市民税及び国保税の滞納には、一般の滞納者と同様に滞納整理を行うほか、事業主に納付指導

の依頼をしています。

平成27年度の市税の不納欠損額は9083万9344円です。市税調定額に対する割合は1・79%です。国保税は、1億4613万2863円で、国保の調定額に対する割合は5・83%です。また、不納欠損は全てが財産調査をした結果、差し押さえることができる財産がなかったものであり、単純時効によるものではなく、徴収法上、やむを得ないものと考えています。



委員会活動報告

小学校跡地利活用に關する

特別委員会最終報告

銚田市では、各中学校区に1つの小学校を新設することとなっており、将来的には20校が廃校となる予定です。当委員会では、全11回にわたり小学校跡地の利活用について協議を重ね、執行部に対する要望がまとまりましたので、9月30日の本会議で最終報告を行いました。

要望

当委員会において、小学校跡地の利活用方針等を定めた規則や要項等の作成を要望し、「銚田市学校跡地利用基本方針（案）」が作成されました。

これまで地域コミュニティの核を担っていた小学校の廃校により、地域コミュニティの衰退が危惧されます。

今後、地域の活性化を図ることは重大な責務であり、ますので、作成された基本方針をもとに適正な学校跡地の利活用を推進し、地域の活性化やさらなる銚田市の発展を図ることを要望いたします。

また、当委員会の先進地視察を踏まえた提言等や施設活用者の意見等を執行部でも参考にして検討するよう要望します。



平成28年3月で廃校となった徳宿小学校
最終的に既存の全ての小学校が廃校となる予定

委員会活動状況

7月から9月において開催した委員会の活動について、主要議題を掲載します。

総務企画常任委員会

「銚田市の公共交通機関の現状について」
「発災時の避難対応について」

（仮称）銚田市民交流館整備に関する特別委員会

「中央公民館の耐震工事実施計画の経緯について」

「市民交流館の管理運営及び旭・大洋公民館との連携について」

小学校跡地利活用に關する特別委員会

「行政視察いせきびあ茨城（城里町）」

「委員会の最終報告について」

境町学校適正化配置調査特別委員会様が

視察で来庁されました。

期日：平成28年8月30日（火）

少子化による児童・生徒の減少に伴う学校適正化配置についての調査・研究を行うため来庁されました。

視察では、「銚田市公立学校施設再編計画」をもとに銚田市においての学校適正配置について説明を行い、質疑を受けました。学校統廃合は市民の理解のもとに進めることが重要であることから、多くの質疑がなされ、活発な意見交換ができました。

請願審査

経済建設常任委員会請願審査

期日：平成28年8月19日（金）

9月27日（火）

継続審査となっていた「TPP協定を国会で批准しないことを求める請願」について委員会を開催し、審査しました。

審査の結果、不採択となりました。本市議会においては、過去2回にわたり、TPP協定に関する意見書を関係機関に提出しており、十分な働きかけをすでに行っていると判断したためです。

委員会においては、全会一致で不採択となりました。

厚生文教常任委員会請願審査

期日：平成28年9月28日（水）

茨城県教職員組合から提出のあった「教育予算の拡充を求める請願」について委員会を開催し、審査しました。

審査の結果採択となりました。現在、学校に求められる役割は拡大しているため、安定的な教職員の配置が重要であり、国の施策として定数改善にむけた財源保障をし、子どもたちのゆたかな学びを保障していくことが必要であるという請願趣旨に全会一致で賛成となりました。

本会議においても採択となりましたので、左記の事項を実現するよう政府及び関係機関に意見書を提出しました。

- 一、子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 二、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度を堅持すること。
- 三、震災からの教育復興のための予算措置を継続して行うこと。

平成28年第3回定例会

（本会議）
9月30日

議案第2号

市長公用車に関する調査特別委員会の設置について
（提出者／岸田一夫議員、賛成者／根崎眞議員、郡司功議員、高野衛議員）

市長公用車の運転日報が未記載であったことから、特別委員会の設置について議案が提出されました。採決の結果、賛成10、反対8により可決され、市長公用車に関する調査特別委員会が設置されました。委員会の目的については次のとおりです。

目的

- 市民からの情報公開請求によって、市長公用車の日報が長年付けられていない事が判明しました。銚田市庁用自動車管理規程に違反していた事は明らかで、疑念が生じています。市民の負託に応えるためには、真相を解明し、市議会としての責任を果たす事が強く求められています。よって、以下の3点について真相究明を行います。
- 一、市長公用車の運用が公私区別され適切であったか明らかにする。
 - 二、日報が付けられず今日に至った経緯と原因を明らかにする。
 - 三、この事態を招いた責任の所在を明らかにする。



傍聴者の声



鉾田青年会議所
理事長

飯島 寿博

本会議の一般質問では、議員と行政との間で、鹿島鉄道線路跡地の整備や地域おこし協力隊制度の活用、農地の雨水対策や、(仮称)鉾田市民交流館建設についてなどの個別のテーマと、人口減少、鉾田市総合計画や公共施設の管理計画といった長期的施策に関するテーマで議論が交わされました。是非とも、現状の問題に向き合うとともに、二十年先三十年先の鉾田の姿を見据えた中長期的ビジョンを土台とした、より建設的な議論をご期待いたします。

平成28年第4回(12月)定例会日程(予定)

月 日	会 議 内 容
12月2日(金)	本会議 開会
12月6日(火)	一般質問
12月7日(水)	一般質問
12月9日(金)	常任委員会
12月12日(月)	常任委員会
12月13日(火)	常任委員会
12月16日(金)	本会議 閉会

※日程は変更になる場合があります。

平成28年第3回(9月)定例会の延傍聴者数103名
平成28年第2回臨時会の延傍聴者数103名



鉾田うまかつフェスタ (鹿島灘海浜公園)

編集後記

議会広報編集委員会の委員に選任され、鉾田市議会の情報発信ができると思い嬉しく思いました。

私は、鉾田市議会議員になって1年4か月が経ち、その中でいろいろ経験させていただき、勉強させていただきました。

いろいろな問題はあると思いますが、その問題を中立的立場で情報発信することが、広報として一番大切なことだと思います。

自分の思いが強ければ強いほど偏った情報発信になってしまうとは思いますが、フラットな気持ちで情報発信できるように心がけていきたいです。

(渡辺 拓哉委員記)

委員長 郡司 功
副委員長 井川 倫士
委員 岸田 一夫
亀山 彰

渡辺 拓哉

